

内視鏡技師の紹介

当院には、4名の内視鏡技師の資格を持つ看護師がいます。

当院の内視鏡検査は、上部（食道、胃、十二指腸）内視鏡室2室と下部（大腸）内視鏡室2室があります。



毎日、内視鏡検査をしており、1か月に少ない時は200人から多い時では350人くらい検査をしています。木曜日が最も検査件数が多く、胃内視鏡検査は1日に30人以上のときもあります。

内視鏡検査には常勤医師4名、非常勤医師2名、看護師14名（内4名内視鏡技師）、クラーク2名が交代で勤務しています。各検査に医師1名と看護師3名とクラーク1名が担当しています。

スタッフはその日の検査内容にあった準備や検査時の患者様の対応、医師の介助、検査が終わった患者様への説明等を協力して行っています。

内視鏡技師とは？

日本内視鏡技師学会が認定する資格を持つエキスパートのことです。内視鏡室で2年以上勤務した医療資格者が内視鏡について学習したのち資格試験を受けて合格した者が内視鏡技師の資格を得ることができます。5年に1度資格を更新する必要があり、学会や研修会に出席し新しい知識を得ています。

どんな仕事をするの？

内視鏡の検査、治療、洗浄、消毒等の介助を行います。患者様に安全に内視鏡検査を受けていただくために機器管理、機材トラブルに対する対応、メンテナンスを行っています。消化器内視鏡技師会のガイドラインに基づいた感染対策も行っています。

内視鏡技師に聞きました

内視鏡技師の資格をとろうと思ったきっかけは？

以前勤めていた病院で内視鏡を取り扱っている看護師を見て「かっこいいなあ」いつか自分も取れたらいいなと思っていて、実際に内視鏡に関わるようになって勉強する必要があると感じていたのと師長さんに声をかけてもらったのがきっかけです

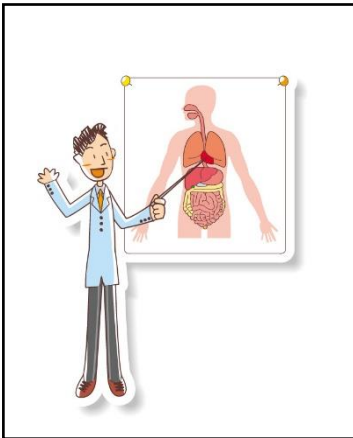
内視鏡検査に関わることが好きだから専門的知識を得るよう勉強したいと思った。

内視鏡検査に関する知識を高め患者様を安楽にしてさらに寄り添えるようになるため

自己の価値をあげるため、また、内視鏡に関わる看護師としての技術向上のため



内視鏡技師の資格をとるためにどんな勉強をしましたか？



- ・解剖、薬理、微生物、内視鏡検査全般について勉強しました
- ・過去問を解き、なぜその答えになるのかを根拠まで深めました
- ・受験するメンバーと医師の指導のもとで学習しました

内視鏡技師の資格を取ってよかったと思うことは？

・内視鏡検査時に医師と同じレベルの話ができ（病変について理解できる）
また、看護師から見ての気づいた事を伝えられる。

内視鏡学会、技師会へ参加して学習できる

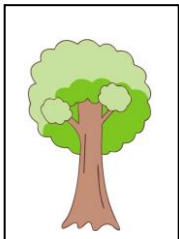
他施設のことを知ってよいところを当院でも取り入れることができる

内視鏡学会に参加して症例を多数知ることができる。

これからどんなことがしたいですか？

患者様が内視鏡検査をより楽に受けられ、患者様に寄り添えるようになれるように学びたい

内視鏡検査に対する不安を和らげるような検査への誘導ができるようになりたい



寺田病院で内視鏡検査を受けたいと思ってもらえるように楽に検査を受けられるようにしていきたい。